

玉藻会報

第30号

発行：茨城県立麻生高等学校玉藻同窓会

行方市麻生 1806

TEL0299-72-0098 Fax0299-72-2317

URL : <https://www.asou-h.ibk.ed.jp>

茨城県立麻生高等学校玉藻同窓会 会報

しめこみ



茨城県立麻生高等学校玉藻同窓会
会長 横山 忠市
(高十四回卒)

会長の横山忠市でございます。會員並びに保護者の皆様には、平素より同窓会・後援会活動に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。同窓会を代表いたしましたして、厚く御礼申し上げます。

さて、この二年間世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症は、一向に収束の兆しを見せず、私たちの社会経済活動を脅かし続けています。

本校の同窓会活動や後援会活動におきましても、昨年度に続き今年度も、異例の開催を余儀なくされました。五月の後援会総会は書面による議案の承認となり、例年八月に実施しておりました同窓会総会は今年度も中止させていただきました。會員の皆様と、同窓会や学校について親しく話し合う機会が持てないでいることは、甚だ残念なことではあります。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

総会を開催することはできませんでしたが、本会報に掲載されていますように、同窓会會員の皆様が様々な形で母校を支える活動をしてくださっています。大変心強く、深く感謝申し上げます。次第です。

一方、教育の場においても、様々な制限がなされ、不自由で忍耐を強いられる困難な状況が続いています。そのような中、本校生徒の皆さんが、たくましくしなやかに学校生活を送っている様子をうかがいます。若者の持つ可能性に、明日への希望を見る思いがいたします。

部活動では、陸上部の生徒が、砲丸投げで関東大会出場を果たしました。写真部でも、二人の生徒が県の代表として、それぞれ関東、全国に作品を出展することになりました。その他にも、女子ハンドボール部が高校総体県予選で準優勝するなど、多くの運動部文化部が素晴らしい成果を上げています。

また、ほとんどの学校行事を縮小・中止せざるを得ない中、先生方や生徒の皆さんは、話し合いを重ね、工夫を凝らして、可能な範囲で文化的行事やスポーツ大会を安全に実施しました。長い休校期間も、マスクがはなせない日々の授業も、同様に乗り越えてきました。

特に三年生は、就職活動や進学準備にも大きな不安があったことと思います。ご家族や先生方のご助力のもと、これまででない忍耐をもって、それぞれの目標を達成するために大変な努力をしてきたことでしょう。その忍耐と努力は、必ずやこれからの人生の糧となっていくものと確信しています。



世界はまだまだ、新型コロナウイルスがまねいたパンデミックから抜け出す道を見いだせないでいます。しかし、未来に生きる私たちは、希望を失わず、着実に一步一步前進していきたいものです。生徒の皆さんには、麻生高校で学んだことを生かし、平和で真に豊かな社会の創造に貢献して欲しいと願っています。

最後になりましたが、地域の皆様のご支援と先生方のご指導、保護者の皆様のご協力に感謝するとともに、茨城県立麻生高等学校の益々の発展を祈念し、ご挨拶いたします。

「あいつ」



茨城県立麻生高等学校 校長 青山 泰久

す。創立90周年を数える歴史と伝統のある麻生高等学校に赴任しましたこと、大変光栄に存じます。また、同窓会並びに後援会の皆様におかれましては、日頃より本校教育諸活動に對しまして、物心両面にわたりご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、元号が平成から令和へと変わり3年が終わろうとしています。思い起こせば、平成が発足するときに、記者会見で平成の意義を問われた当時の小渕恵三官房長官は、平成と書かれた新しい元号を前に「平らかに成る」と答えました。激動の昭和と言われた時代から、「今よりも穏やかに時間が過ぎていく時代となるように」との思いが込められていると感じた方も多いのではないのでしょうか。しかしながら、現実の平成は平らかに成る時代にはほど遠く、相次ぐ凶悪事件や想定外の大災害が発生し、日々の生活の中では頻繁に「安心・安全」と言う言葉が使われるようになりました。一方でアナログ時代からデジタル時代への変遷により、インターネットやスマートフォンが普及し「利便性」と言う意味からは劇的な進歩を遂げました。そして、平

本年度より、本校の校長として赴任しました青山でござい

成から令和へと変わり新時代の幕開けとなった2019年。安倍晋三首相は記者会見で、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め決定した」と述べ、令和には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められていると説明しました。昭和から平成と元号が変わり、平成の30年間を過ぎしてきた者としては、「令和」は本当にそうあって欲しいと心の底から願っていたのですが・・・。果たして、多くの国民の期待をよそに、新型コロナウイルスの出現は世界中を混乱の渦に巻き込み、本来であれば令和という新元号のもと、世界各国のトップアスリートを迎え盛大に開催されるはずの東京オリンピック・パラリンピックが延期になるとは誰が予想したでしょうか。日常生活においても三密の回避やソーシャルディスタンスの確保と言った事が当たり前になり、新しい生活様式の実践が推奨されました。世の中

はICTを活用したテレワークが普及し、働き方までが変わり、学校の教育現場においてもICTを活用したオンライン授業や動画配信がなされ、皮肉

にもコロナ禍によりICTを活用した授業展開が加速しました。このような中、教育界も大きな改革の時を迎えております。大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」の実施、高等学校においては、来年度より「新学習指導要領」に沿った授業が展開されます。特に大きな変更点としては、「子どもたちが自分で未来を切りひらいていけるように、生きていくための資質・能力を育んでいく」ことを重視しています。その「生きる力」を三つの柱として、

- 1 学びに向かう力・人間性の育成（学んだことを社会で活かす）
- 2 知識・技能の習得（社会で生きて働く）
- 3 思考力・判断力・表現力（未知のことに対応できる）

が掲げられ、すべての教科でこの「三つの柱」に基づき、それぞれの教科の授業内容や教科書も新学習指導要領に沿った内容に再編成されました。また、「どのような学ぶか」ということにも重きを置き、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指していくことが示されました。



ました。本校においても、これらの動きをしっかりと見据え、これまでの実績とともに、本校ならではの特色を生かした

がら、在校生はもちろんのこと、皆様のご期待に応えられる学校教育がなされるよう教職員一丸となり邁進していく所存でございます。そして、本校教育目標の一つでもある「地域から評価され、地域とともにある学校」の実現を目指す取り組みをより活性化していきたいと考えておりますので、同窓会並びに後援会の皆様におかれましては、麻生高等学校の更なる躍進のために、より一層のご支援、ご協力をいただきますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



令和三年度 各部活動の活動状況

◆男子ハンドボール部

関東高等学校ハンドボール大会茨城県予選会 ベスト8
全国高等学校総合体育大会茨城県予選会 第3位
全国高等学校ハンドボール選抜大会茨城県予選会 第3位

◆女子ハンドボール部

関東高等学校ハンドボール大会茨城県予選会 ベスト8



全国高等学校総合体育大会茨城県予選会 準優勝
全国高等学校ハンドボール選抜大会茨城県予選会 第3位

◆サッカー部

茨城県リーグ(C18 C19)4部リーグ
全国高等学校総合体育大会茨城県大会 一回戦敗退
第100回全国高校サッカー選手権大会茨城県大会 ベスト16
茨城県高校サッカー新人大会 二回戦進出

◆硬式野球部

春季茨城県高等学校野球大会 一回戦 出場
第103回全国高等学校野球茨城県大会 二回戦 出場
第74回秋季関東地区高等学校野球茨城県大会県南地区予選 代表決定戦 出場

◆男子バスケットボール部

関東高等学校バスケットボール大会茨城県予選会県東地区大会 出場
全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技茨城県予選会県東地区大会 出場
関東新人バスケットボール大会茨城県予選会県東地区大会 出場

◆女子バスケットボール部

関東高等学校バスケットボール大会茨城県予選会県東地区大会 優勝
全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技茨城県予選会県東地区大会 優勝
全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技茨城県予選会 ベスト16

関東新人バスケットボール大会茨城県予選会県東地区大会 優勝



◆女子バレーボール部

関東高等学校バレーボール大会県東地区予選会 第3位
関東高等学校バレーボール大会茨城県予選会 一回戦敗退
全国高等学校総合体育大会県東地区予選会 出場
第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会県東地区予選会 出場
茨城県高等学校バレーボール新人大会県東地区予選会 出場

◆男子ソフトテニス部

関東高等学校ソフトテニス大会県東地区予選会 男子団体3位

全国高校総体ソフトテニス大会県東地区予選会 個人の部1ペア ベスト16
茨城県高等学校ソフトテニス新人大会県東地区予選会 出場
茨城県高等学校ソフトテニス新人大会 出場

◆女子ソフトテニス部

関東高等学校ソフトテニス大会県東地区予選会 出場
全国高校総体ソフトテニス大会県東地区予選会 出場
茨城県高等学校ソフトテニス新人大会県東地区予選会 出場

◆男子卓球部

関東高等学校卓球大会県東地区予選会 出場
全国高校総体卓球県東地区予選会 出場

◆女子卓球部

関東高等学校卓球大会県東地区予選会 女子学校対抗3位、女子ダブルス優勝(県大会進出)、女子シングルス3位(県大会進出)
全国高校総体卓球県東地区予選会 女子学校対抗2位(県大会進出)

◆男子弓道部

関東高校弓道大会県東地区予選会 出場

全日本卓球選手権大会ジュニアの部茨城県予選会 出場

全国高校総体卓球茨城県予選会 女子学校対抗 ベスト16

体3位 個人3位

関東高校弓道大会県予選 出場

全国高校弓道選抜大会県予選 出場

関東地区高校弓道冬季大会 出場

茨城県高校弓道冬季大会 中止

◆女子弓道部

関東高校弓道大会県予選 出場

全国高校弓道選抜大会県予選 出場

関東地区高校弓道冬季大会 団体3位 個人3位

茨城県高校弓道冬季大会 中止

◆男子陸上競技部

茨城県県東地区高等学校陸上競技対抗選手権大会 400m 4位 1500m 8位

400mH 5位 3000mSC 3位 4×100mR 9位

4×400m 7位 走高跳 2位 4位 5位

砲丸投 3位

茨城県高等学校陸上競技対抗選手権大会 出場 400m 400mH 3000mSC 4

×100mR 4×400mR 走高跳 砲丸投 400mH B決勝 6位

茨城県高等学校陸上競技新人大会

400mH B決勝 6位

関東地区高等学校ロードレース大会

5km 1位

◆女子陸上競技部

茨城県県東地区高等学校陸上競技対抗選手権大会 100m 3位 5位 200m 9

位 400m 8位 3000m 4位 100mH 2位

4×100mR 4位 4×400mR 4位 砲丸投 1

位 円盤投 1位

茨城県高等学校陸上競技対抗選手権大会 出場 100m 200m 100mH

4×100mR 4×400mR 400m 8位 砲丸

投 円盤投

茨城県陸上競技選手権大会 出場

砲丸投

茨城県高等学校陸上競技個人選手権大会 砲丸投 4位

関東高等学校選抜新人選手権大会 出場 砲丸投

茨城県高等学校陸上競技新人大会

砲丸投 4位 100mH B決勝 8位



関東大会の様子

◆書道部

第22回 高校生国際美術展 書の部

佳作 2名

第43回ふれあい書道展 筆都大賞 1

名 特選 2名 奨励賞 4名 敢闘賞 1

名 茨城県高等学校総合文化祭美術展覧

会書道の部 奨励賞 1名 入選 6名

◆演劇部

第35回茨城県高等学校演劇祭第38

回 関東地区大会 優良賞

校内公演 2回 (視聴覚室)



◆写真部

第28回写真甲子園2021 応募

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧

会写真展 優秀賞 2名 (全国 1名・関

東 1名) 入選 7名



第43回よみうり写真大賞 中高生フ

ォト部門 応募

校内「文化部展示発表会」作品展示

第196回 TopEye フォトコンテスト 応募

◆吹奏楽部

関東地区プレコンクール2021 参加

第34回茨城県吹奏楽コンクール県東

地区大会出場 優秀賞

第24回ソロコンテストいばらき一次

審査出場 優良賞 4名 優秀賞 1名

(関東区代表)

校内「アンサンブルコンサート」「ク

リスマスコンサート」「ソロコンテス

ト」「文化部展示発表会」での演奏

◆美術部

茨城県高等学校総合文化祭美術展覧

会絵画の部 入選 4名

校内「文化部展示発表会」 作品展

示

◆アート部

校内「文化部展示発表会」 作品展

示

◆文芸部

文集『七つ星』の制作

校内「文化部展示発表会」 作品展

示

◆RC部

エコキャップ回収活動

麻生幼稚園との交流 (保育体験・ク

リスマスカードプレゼント)

私と麻生高校



茨城県立麻生高等学校 教諭 沼尻 聡美

教室の窓から見える澄んだ空と霞ヶ浦、非常階段から眺める夕焼けに染まる霞ヶ浦と筑波山（冬は富士山も）、母校へ戻ってきて、再びこの美しい景色を見ることができているのがこの上ない喜びである。懐かしい景色と共に、かつて高校生だった頃の記憶もよみがえってくる。

私が麻生高校に進学を決めたのは、祖父・父・母・姉と麻生高校出身で何となく高校と言えば麻生高校という認識があったこと、そして、小中と打ち込んだできたハンドボールを続けたかったからである。中学三年のとき、高校生の試合を見に行く機会があり、新人戦県大会決勝で水海道二高と大接戦を繰り広げる先輩方のプレーを間近で見た。そのあまりのかわさきに、私もこの中でやってみたく強く思った。一方で私は大学に進学したいと考えていたので、体力の無い自分が勉強と部活動を両立できるのだろうかと不安もあった。しかし、ハンドボール部の歴代の先輩方には部活動と両立して国立大に現役合格している方もいて、私も文武両道で三年間頑張ろうと覚悟を決めて入部した。

いざ高校生活が始まってみると、入試を見据えた模試や課外、予備校の先

生を呼んでの講習会で己の学力の足らなさを突きつけられ、部活動では下手くそな上に気も利かず先輩に注意されてばかりで、私って何にもできないな…と自分が選択した道の厳しさを思い知った。そこで、部活も勉強も共倒れにならぬよう時間の使い方を見直した。担任のT先生に自分の行きたい大学とそこに合格するためにどう頑張れば良いのか相談しながら、スキマ時間を無駄にしないことや、平日は最低三時間、休日は五時間勉強することを目安に時間をやりくりした。部活が終わって家に着くのがだいたい夜八時、そこからごはんやお風呂を急いで済ませ、九時から十二時まで勉強、そして就寝。これが平日のルーティーンだった。正直、練習で疲れて寝たいときや、監督にめちゃくちゃ怒られてどん



底まで落ち込んでいたときなど、めげそうになるときはたくさんあった。それでも歴代の先輩方はこれ乗り越えたと思うと私も負けたくなかったの。大学に合格して都会で華のキャンパスライフを送るため、と未来のキラキラした自分を何とかイメージしてこのルーティーンを継続した。辛くて苦しくて涙を流すことも多々あったが、思い返せば実に充実した日々であった。

入学当初、担任のT先生が仰っていた「自分にしか語れない三年間を過ごして下さい。」という言葉は今でも鮮明に覚えている。当時は、T先生は国語の先生だからポエミーだなあ、くらいにしか思わなかったが、時が経つにつれ、その言葉の本当の意味が分かるようになった。麻生高校で過ごしたあの三年間が、これまでの私をどれほど励ましてくれたことだろう。悩み立ち止まったときに思い出すのは、いつも高校時代である。あのときやり遂げた自分なら、今回だって頑張れる。永遠に終わらないメディシンダッシュよりも怖くないものなんてない。そう思うと自然と背筋が伸びて、前を向ける。いわば、高校生活は私の芯の部分なのである。教員という立場で母校に戻ってきたことで、己の至らなさに気づかされると共に、かつてお世話になった先生方がいかに偉大であったかを思い知る。英語の面白さに気づかせて下さったY口先生、受験勉強で行き詰まっていた確かな助言をして下さったN沢先生、数学がとことんできない私を優し

く指導して下さいましたS谷先生…、そんな先生方に今度は教員という立場でご指導いただくことができて、本当に幸せである。生徒として教員として麻生高校で学んだことを次の世代へと繋げていけるよう、今後も精進していきたい。



寄贈ありがとうございました

交通安全標識

令和三年七月十五日(木) 株式会社 田崎技術 代表取締役 田崎 翼様(本校卒業生)より、本校の教育環境整備の一助となるよう、「交通安全標識」をご寄贈していただきました。敷地内の複数個所に設置し、生徒及び教職員、保護者ほか来校者の校内での車両走行に係るマナーやルールを明確にすることができ、交通事故の未然防止等、安全面の確保ができたことにつきまして、心より感謝申し上げます。



製氷機

令和三年十一月二十六日(金) 箕輪リース株式会社 代表取締役 箕輪直輝様(本校卒業生)より、本校の教育環境整備の一助となるよう、「製氷機」をご寄贈していただきました。

体育館の玄關脇に設置し、体育授業や運動部活動、学校行事等で活用させていただくことで、本校生徒・教職員の熱中症等予防などの健康・安全管理面の更なる向上が図れることとなりました。心より感謝申し上げます。



建友玉藻会から花の贈り物

令和三年十二月十二日(日)、本校卒業生で建設・造園に携わる方々により結成されている「建友玉藻会」の皆さんから、美しい葉ボタン(150本)とパンジー(350本)を提供して頂き



ました。今回も多くの方にご参加いただき、校舎前面の花壇にたくさんのお花が植えられました。茨城新聞にも記事が掲載されました。この一年、コロナ禍により非日常の日々が続いていますが、建友玉藻会の皆さんからは、きれいな花とともに安らぎと優しさも贈っていただきました。ありがとうございます。



キャリア教育講演会を実施

令和三年十二月六日(月)、啓示(さとし)会の協力を得て、現在教職員をされている本校卒業生の方々をお招きし、キャリア教育講演会を実施しました。本校体育館で一年生に「生教員を目指したきっかけ」や「仕事のやりがい」などをユーモアを交えながら熱く語っていただきました。



東京玉藻会より

東京玉藻会(箕輪光博会長)は、本校を卒業し、現在東京近郊に在住する同窓会員の集まりです。今年度の総会は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりましたが、例年十二月の第一土曜日に総会を開催し親睦を深めています。

編集後記

新型コロナウイルスにより、つらいことも多いですが、今まで見過ごしていた当たり前の日常の中に、幸せや喜びがあったのだという事に改めて気付かされます。心のよりどころとなる「学校」「家庭」という場所を、これまで以上に大切にしていきたいものです。皆様の健康と、一日も早いコロナ禍の収束を心よりお祈りいたします。